

教育心理研究部門

「社会性と感情教育」研究部会（第37回）

日時：2018年8月27日（月）11：30～15：30

場所：野間教育研究所 2階閲覧スペース

出席：渡辺弥生・飯田順子・小林朋子・大森美香・藤枝静暁 各兼任研究員
金沢千秋・泉水里香・鈴藤益弘

欠席：吉久知延所長

内容：（1）飯田順子氏より、7月に開催された「国際学校心理学会東京大会」で発表した
“Evaluation of Emotional Words in Japanese Language Textbooks and Their
Tendencies” (Junko Iida, Yayoi Watanabe and Tomoko Kobayashi)の紹介
・ 小学校1年から6年の国語教科書に表出する感情語を分析し、通常教育の中での感情語の扱い、感情教育の重要性、学校教育での取り扱いの難しさに触れている

（2）藤枝静暁氏より、紀要担当部分の原稿紹介

◆ 第3章 児童を対象としたソーシャルスキル教育の実践研究—児童用感情スキル尺度の開発—

第1節 学校現場の問題

（1）学校不適應の現状

1. いじめ
2. 不登校
3. 暴力行為

（2）学校不適應の要因

第2節 学校不適應の予防について

（1）学校適應状態のアセスメント

（2）ソーシャルスキルについて

1. ソーシャルスキルの定義
2. ソーシャルスキル教育
3. SSE (Social Skills Education)で子どもに教えるソーシャルスキル
4. SSEの先行研究と課題

第3節 学校適應を向上させるためのSSE

（1）感情へのアプローチの必要性

（2）感情スキルの獲得を目標とした介入研究とその課題

第4節 本研究の目的

（1）感情を測定する方法

（2）学校現場で児童の感情スキルを測定する

・ 次回の研究会は、9月10日（月）11：30～。